

私たちの日本遺産

— 祈る皇女斎王のみややこ 斎宮 —



年 組

私たち小学校の近くにある日本遺産の文化財を探してみよう!

私たちと一緒に明和町の日本遺産を学ぼう!

明和町



【クイズ・斎王＆斎宮の解答】

Q1: 倭姫命 Q2: 御杖代 Q3: 真鶴 Q4: 斎王群行 Q5: 神嘗祭、月次祭
Q6: 息子内親王 Q7: 源氏物語 Q8: 葱華葦 Q9: 女 Q10: 斎宮寮

明和町の日本遺産

「祈る皇女斎王のみやこ 斎宮」

にほんいさん

私たちのまち「明和町」は、伊勢神宮の天照大神に仕えた皇女「斎王」の宮殿「斎宮」があつたところです。斎宮は660年の長い間続、明和町にさまざまな歴史や物語を残してくれました。それらは今も町内あちこちに残り、地元で語り継がれています。

そうした斎王の物語は、2015年に「祈る皇女斎王のみやこ斎宮」として全国で初めて日本遺産になりました。

斎宮があつたただひとつの場所として、守り続けられてきた斎宮跡の発掘調査も進んでおり、みなさんの小学校の近くにも斎王や斎宮に関係するものが多くあります。日本遺産について知ることは、きっとみなさんが大人になつたとき、明和町のことを多くの人に紹介するのに役立つことでしょう。

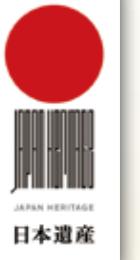
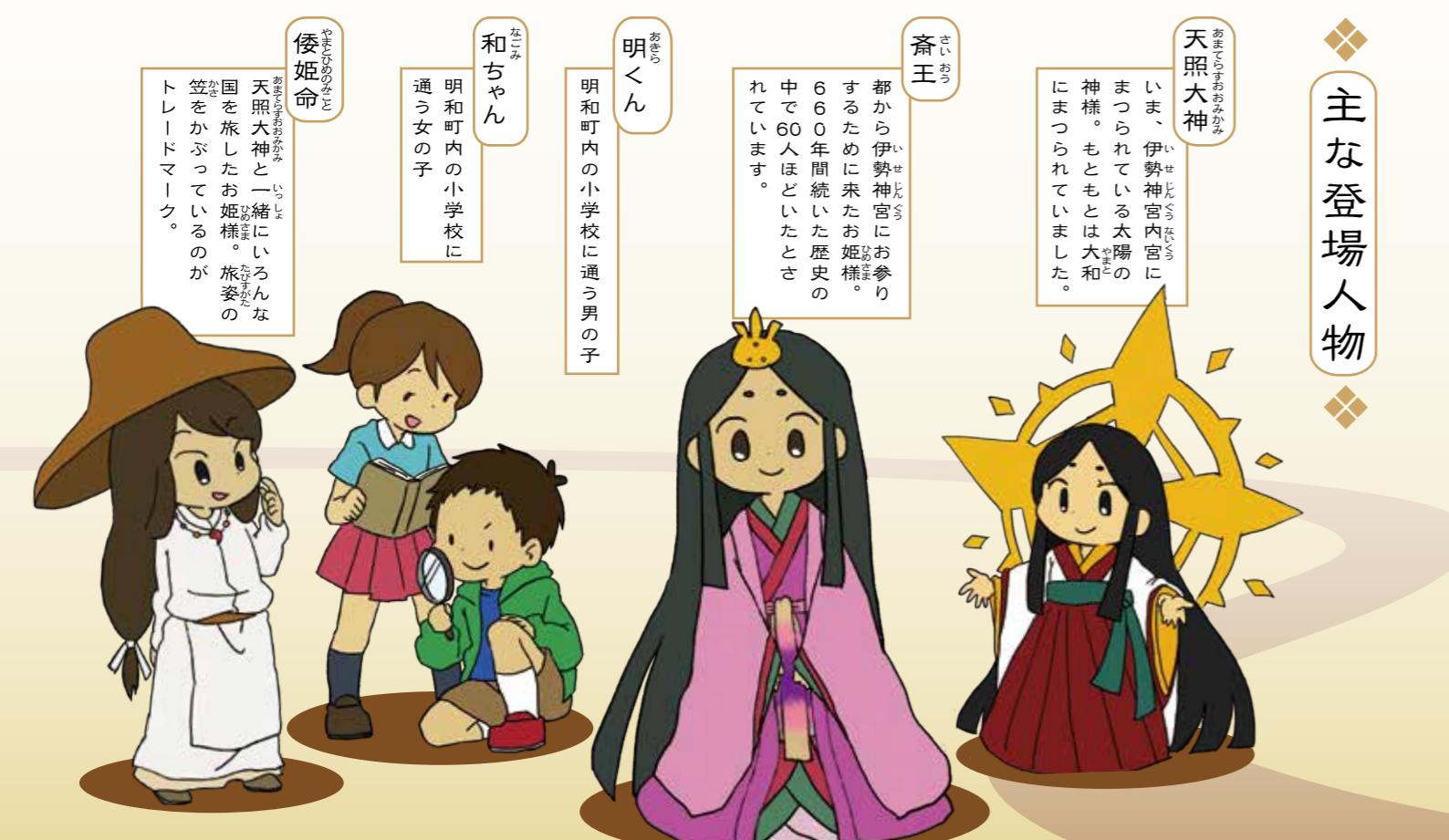
この本はそんな日本遺産「祈る皇女斎王のみやこ 斎宮」のストーリーをおして、みんなに日本遺産のことを知つてもらうものです。これを読んで明和町の日本遺産について理解を深めましょう。



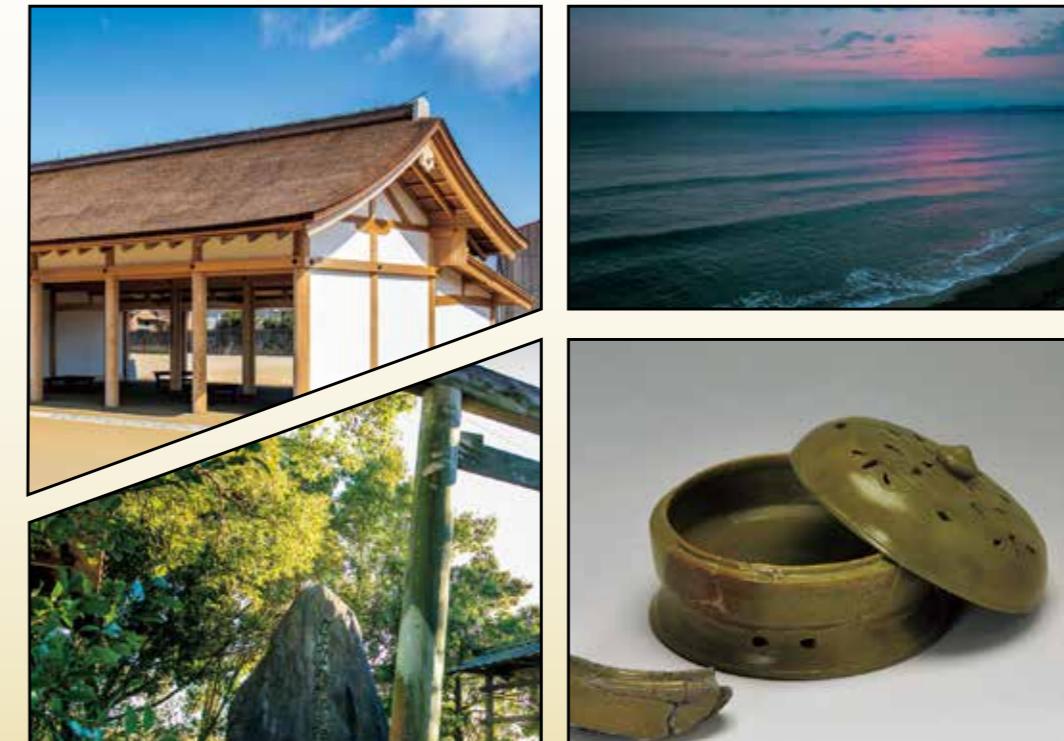
目次

| | |
|-------------|----|
| 伊勢の入り口 | 4 |
| 天照大神をまつった | 6 |
| 真鶴の伝説 | 8 |
| 神の世界との境界 | 10 |
| 大きいなる海での禊 | 12 |
| はかない恋の物語 | 14 |
| 源氏物語に登場 | 16 |
| みやびな暮らしを物語る | 18 |
| 悲劇の斎王 | 20 |
| 受け継がれた幻の宮 | 22 |
| 斎王の宮殿があつた | 24 |
| 祈る皇女斎王のみやこ | 26 |
| 斎宮関連施設 | 28 |
| 斎王のみやこ MAP | 30 |

主な登場人物



日の丸の下の模様のようにみえるのが「JAPANHERITAGE」という英語をデザイン化したもので、「日本遺産」という意味です。



①伊勢の入り口

大淀

大昔、太陽神の天照大神は、大和の天皇の宮廷でまつられていきました。

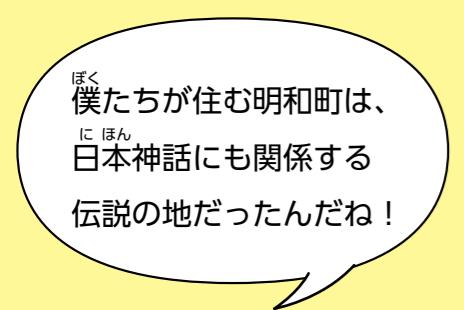


日本神話と斎王の始まり

日本神話の時代までさかのぼります。



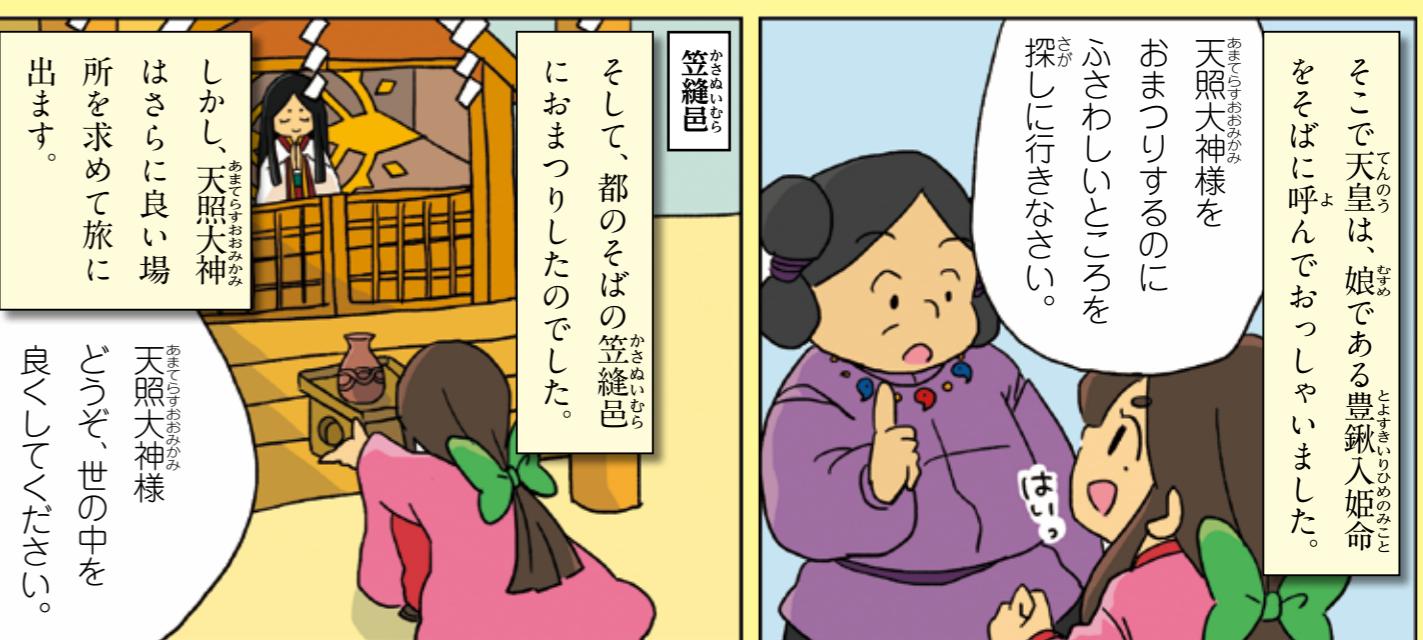
伊勢と大淀



第10代崇神天皇のとき、世の中に病気がはやったのを悲しんだ崇神天皇は、大和（現在の奈良県）の宮廷でまつっていた天照大神を別の清浄な地でおまつりするように「女房（娘）の豊鍬入姫命」にいました。そこで最初にまつたのが宮廷に近い「笠縫邑」（現在の奈良県桜井市・檜原神社とされる）です。豊鍬入姫命は最初に天照大神をまつった皇女で、初代斎王とされています。

しかし、さらに清浄な地を求めて旅に出ることに決まる、豊鍬入姫命は垂仁天皇の娘の倭姫命に跡を引き継がせました。倭姫命は大和を離れ、天照大神をおまつりできるさらに良い地を求めて色々な国を旅しました。長い旅の末にたどり着いたのが現在の明和町大淀で、昔はここも伊勢國と呼ばれており、伊勢神宮への入り口と考えられています。また、船で大淀に着いた倭姫命は、海が大きいに淀んでいて航海がしやすかったことを喜んで、この地を「大淀」と名付けました。

※次のページでも倭姫命と天照大神のお話を紹介します。



②天照大神を
まつった

佐々夫江行宮跡

思えば、伊勢にたどり着くまでの道のりは本当に長かったわ…
(前ページからの回想でお送りします)

倭姫命が各地を巡り、一時滞在した場所(行宮)を「元伊勢」と呼ぶところもあります。なんと旅は数十年に及んだそうです。

旅をする天照大神
天照大神は行宮を造りながら移動し、最も良い場所である現在の伊勢神宮に着いたとされています。



斎王の始まり

前のページを参考にしてください。

豊鉄入姫命の跡をついだ倭姫命は大和を離れ、天照大神をおまつりできる地を探して、伊賀(今の三重県)、近江(今の滋賀県)、美濃(今の岐阜県)、尾張(今の愛知県)などの諸国を旅しました。豊鉄入姫命と倭姫命は天照大神の代わりとなつて鎮座の場所を探す御杖代と呼ばれました。これが天皇の代わりに天照大神に仕える「斎王」の始まりとなりました。

倭姫命は大淀に船をとどめ、仮の宮となる「佐々夫江行宮」を造り、天照大神をおまつりしました。今は伊勢市に天照大神がおまつりされていますが、少しの間明和町の山大淀におまつりされていたのです。笛笛橋の近くの田んぼの中に「竹佐々夫江旧跡」と書かれた石碑がその跡とされています。



ひと安心だけど、これからも天照大神様にお仕えする「斎王」は必要ね。(ワガママだし…)

こうして、天照大神は現在の伊勢神宮内宮に鎮座されることになったのです。



カケチカラ

発祥の地

伊勢神宮のお祭りの中で、最も重要なお祭りが、その年に収穫された新米を天照大神に捧げて感謝する「神嘗祭」です。これが「懸税」と呼ばれるならわしです。



伊勢神宮とカケチカラ

伊勢神宮の「神嘗祭」で玉垣にかけられる「カケチカラ」。そのはじまりは倭姫命と真鶴の伝説によります。



伊勢神宮と 斎宮と明和町



「神嘗祭」は伊勢神宮の年中行事の中でも、最も大きなお祭りなんだよ。
この伝説が由来となって、伊勢神宮の神嘗祭では、その年に初めて実った稻穂を束ねて内玉垣にかけ、国の繁栄を祈る「カケチカラ行事」が始まるとされています。明和町根倉にある「カケチカラ発祥の地」には、鳥居と石碑が建てられています。根倉は古来には稻倉とも呼ばれていたそうで、昔から米が多く作られていたことがわかります。

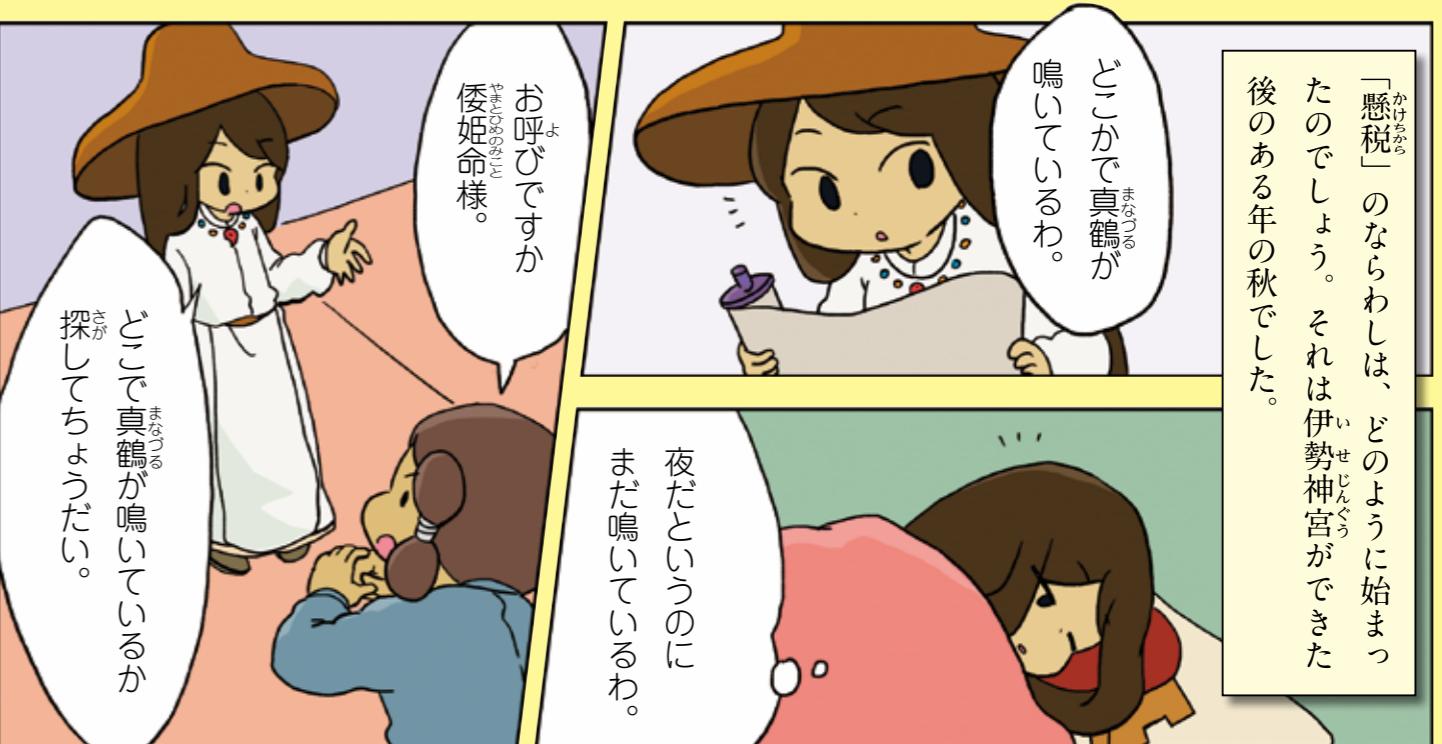


天照大神様
これからも豊作をお願いします。



真鶴伝説は、明和町の昔話としても有名よね！

「懸税」のならわしは、どのように始まったのでしょうか。それは伊勢神宮ができた後のある年の秋でした。



カケチカラ

発祥の地

祓川

天皇の代わりに、伊勢神宮の天照大神に仕える「斎王」は、天皇が位につくときに、未婚の娘またはその親せきから選ばれました。



都から斎宮へ

「斎王制度」ができると、都からの群行ルートが決まりました。斎王は祓川で最後の禊をしてから、神の土地である斎宮へと入りました。



斎王と祓川

「壬申の乱」で勝利を願つて天照大神に祈りを捧げた大海人皇子（後の天武天皇）が勝利をおさめた後に、皇女（娘）である大来皇后を斎王として伊勢に向かわせたのが、「斎王制度」の始まりとされています。大来皇后は実在したことがわかっている最古の斎王です。そして、占いによつて選ばれた斎王が、都から斎王の宮殿である「斎宮」まで群行する時、伊勢神宮の領地の入り口である「祓川」で禊をしました。これは都から数えて6回目になる最後の禊で、「祓川」が神の世界との境界になつていきました。



天皇が交代したり不幸があると斎王も交代することになつていきました。良くないことがあって都に帰るとときは来た道と別のコースを通りました。

當時はとても大変な旅だったのよ。



竹川に「祓戸」という地名があるのも、「祓川」と関係しているんだね。



祓川は多様な生き物が生息する、貴重な場所もあるんだって。



ダイエツト
しておけばよかつた…

都を出発した斎王は数百人のお供が付き添い5泊6日をかけて斎宮に向かいます。この旅は「斎王群行」と呼ばされました。

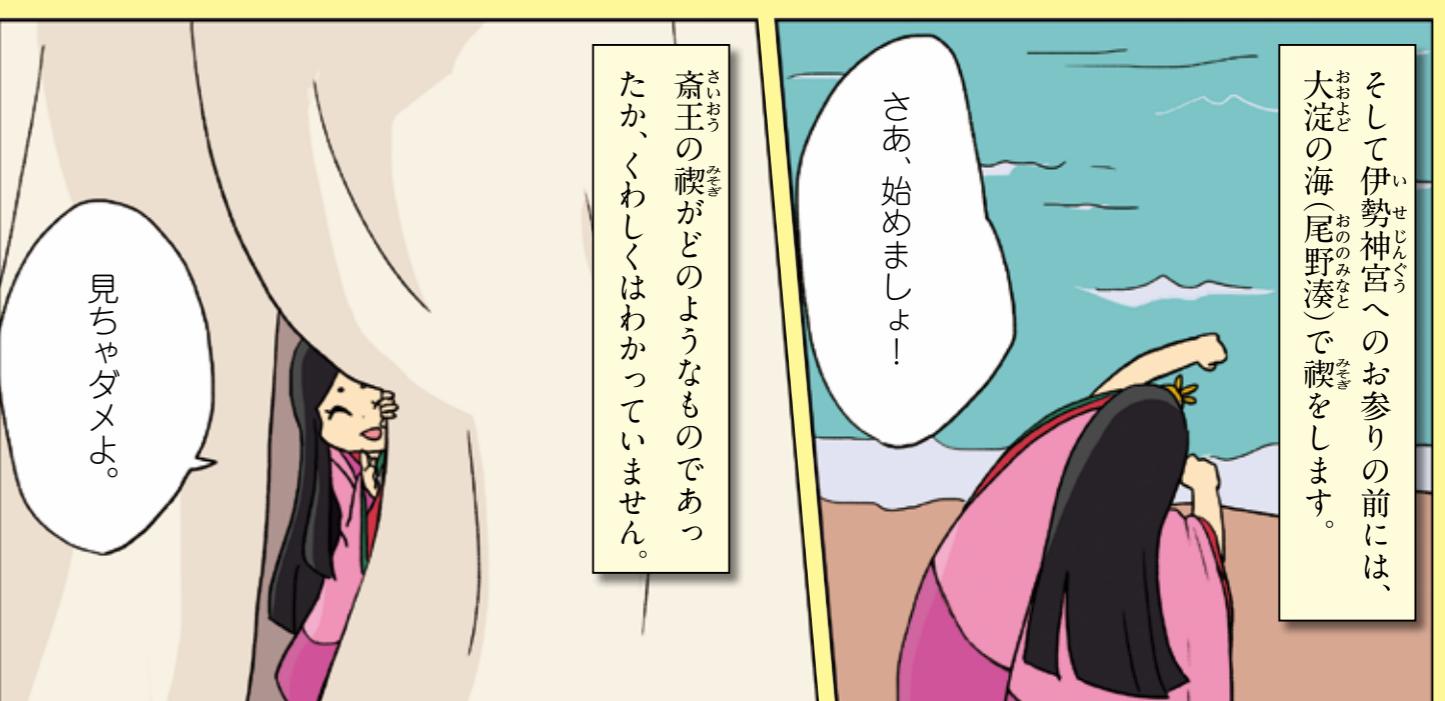
⑤ 大いなる 海での禊

斎王 尾野湊 御禊場跡

斎王は年に3回、9月の神嘗祭と6月・12月の月次祭に伊勢神宮に行き、お参りをするのが大きな役割です。斎宮での日々でもさまざまな祭祀を行っていました。

そして伊勢神宮へのお参りの前には、大淀の海（尾野湊）で禊をします。

伊勢神宮にお参りする斎王
斎王の主な役目は、天皇に代わって伊勢神宮の天照大神に仕えることでした。



斎王と禊

大淀海岸の業平松の近くに、「斎王尾野湊御禊場跡」と書いた大きな石碑が建てられています。「尾野湊」というのは、大淀海岸の古い名前で、昔はこの石碑のところまで海だったようです。

斎宮から大淀海岸までは直線でも8キロメートルほどあり、斎王が行くのには遠く、手間がかかりました。そのため、秋の実りを感謝するお祭りで、朝廷と伊勢神宮のみ行われていた重要な「神嘗祭」の禊だけは、大淀で行い、あとの2回の「月次祭」の禊は、斎宮に近い祓川で行われていました。

約60人いたとされる斎王の中には、30年も務めた人もいたそうです。役目を終えるまで、斎王が都に帰ることは決してありませんでした。

また、参りましたわ！



年に3回伊勢神宮に行く以外はずっと、斎宮で過ごしていたんだね。

昔は石碑のところまで海岸があったんだって。

業平松

在原業平です！

『伊勢物語』に書かれた斎王の恋
平安時代の貴族に在原業平という
たいそうな美男子がいました。



平安時代に書かれた「伊勢物語」という物語の中にある在原業平と当時の斎王だった恬子内親王をモデルにしたのが「狩の使」の物語です。
ほかにも「大和物語」や「栄華物語」、「増鏡」など平安時代の宮中を舞台にした王朝文学には、斎王の悲しい運命ゆえの恋の物語がたくさん書かれています。
平安時代の代表的な物語として現代でも多くの人が読んでいる「源氏物語」にも斎王をモデルにした登場人物がいます。斎王の存在が王朝文学に与えた影響がいかに大きいかわかります。

斎王と王朝文学



その夜：

の方のお部屋に
コツソリ…

私、意外と
大胆なの…

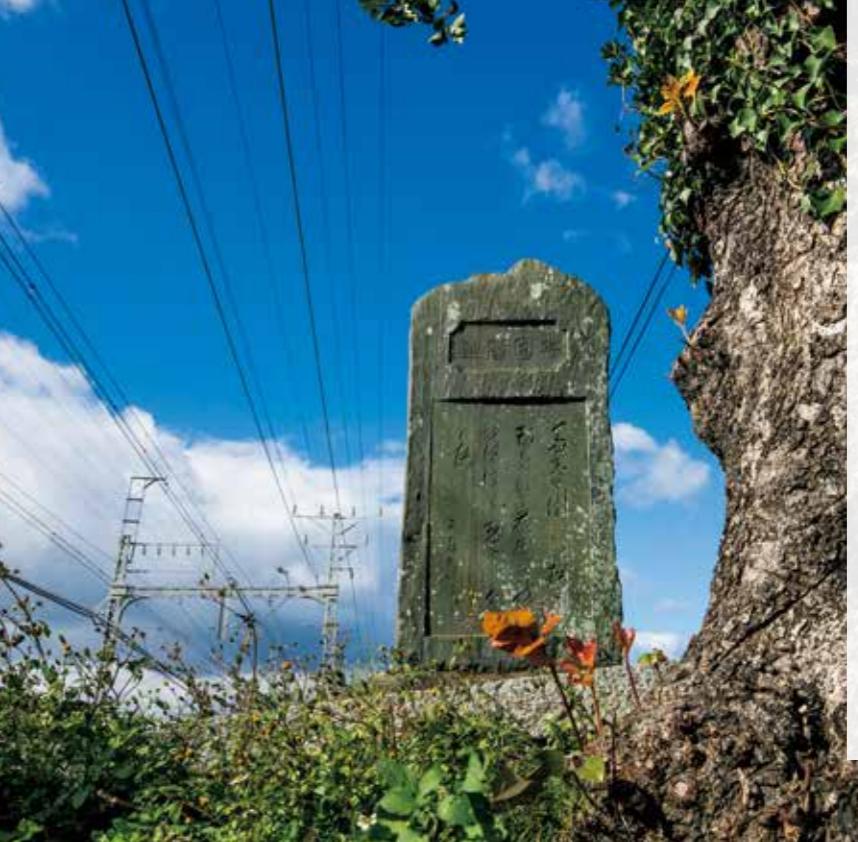
昔の男女のデートは
直接部屋をたずねる
のが普通でした。

一人はほとんど言葉をかわさない
うちに時間がたち、斎王は自分の
部屋に帰つて行きました。

ほとんどお話が
できなかつたわ。

竹川の花園

平安時代に紫式部によって書かれた『源氏物語』は、現在も日本を代表する文化として世界中の人々に読まれています。そして、物語の中には実在の「斎王」がモデルになっています。



源氏物語に登場する斎王

平安時代を代表する「源氏物語」にも斎王や斎宮にまつわる話が描かれています。



斎王と源氏物語



『源氏物語』の「竹河」の帖では、登場人物が「竹河」という催馬樂(平安時代の歌謡)を歌う場面が書かれており、そこには歌が刻まれています。『源氏物語』の「竹河」の帖の名の由来とされています。「竹河」は祓川のことを指し、歌の内容からその近くに花園があったことを意味しています。それが「竹川の花園」として伝えられてきました。

都を離れて心細い気持ちを、花園を見てなぐさめていたんだね。

素敵なお花畠
癒されるわく

お花込みに
行きたいわ。

現在の明和町の竹川付近なのです。

この歌に登場する「竹川の花園」は

橋のつめなるや
花園にはれ花園に
我をば放てや
我をば放てや
少女伴へて

竹川の橋のたもと
の花園に、私と少女
と一緒に解き放つ
ておくれという恋い
の歌が歌われます。

「源氏物語」に明和町が
登場するなんて、
ビックリだね。

はな
都を離れて心細い
気持ちを、花園を見て
なぐさめていたんだね。

明くん

はな
和ちゃん



しかし、実は紫式部は斎宮も斎王も見たことがなかったのです。記録や人々の記憶を頼りに創作された斎王像といえます。

紫式部

クリエーターはそういう
ものよ…フン!

源氏物語に登場します。

斎宮での暮らし

斎宮跡の発掘調査で見つかった出土品からは、斎王の暮らしの一端がうかがえます。



雨乞いや長雨がやむのを祈る祭りに使われたとされる「土馬」が多く出土しています。

「土馬」は神社に奉納される「絵馬」の起源なのよ。

当時の高級食器である中国産の白磁や青磁のほか、緑釉陶器も出土しています。

高級な食器は上流貴族が使っていました。



慣れ親しんだ都の生活を斎宮で再現することが斎王の楽しみだったのじゃなあ。

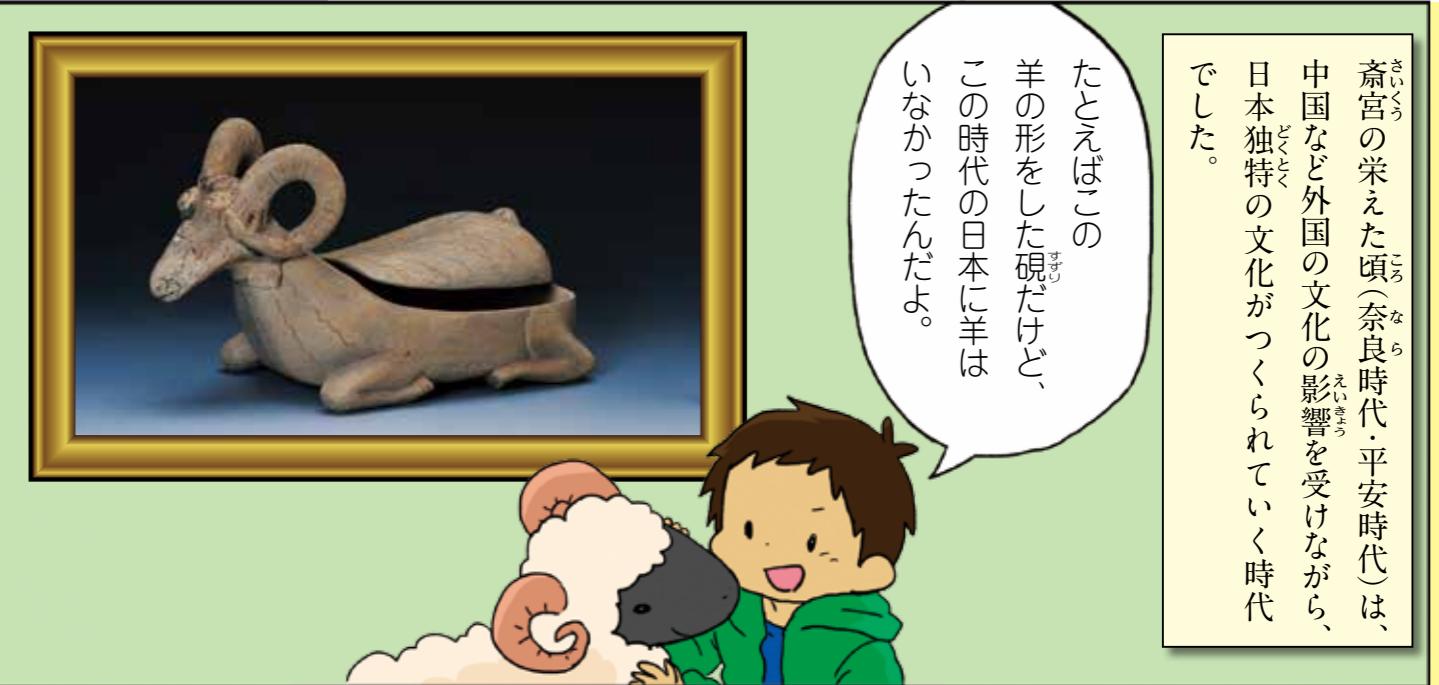


これらの出土品は「斎宮歴史博物館」に展示されているよ。



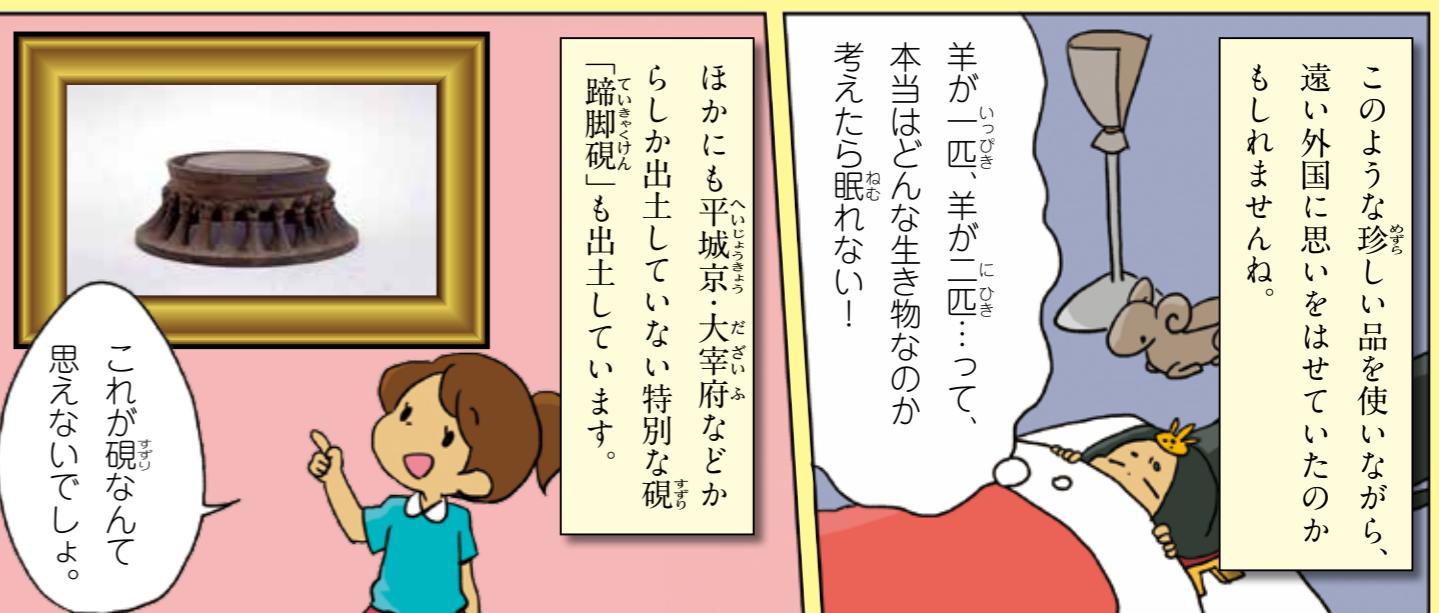
斎宮での暮らし

斎王の斎宮での暮らしは、天皇に代わって伊勢神宮をお参りし、祈りを捧げる慎ましかな生活の一方で、日常生活は懐かしい都をしのぶように、「貝合せ」や「盤双六」など都での遊びをしたり、歌を詠むといった、みやびな暮らしもされていました。それを証明するように斎宮跡の発掘調査では祭祀に使われたと思われる40センチメートルをこえる、全国一の大きさの朱塗りの土馬が発掘された一方で、都で貴族達が使っていた緑色に発色する焼き物「緑釉陶器」も数多く出土しています。これは、美濃(今岐阜県)、近江(今の滋賀県)、平安京周辺(今の京都府)で作られており、斎宮の華やかな生活を裏付けています。



たとえばこの羊の形をした硯だけど、この時代の日本に羊はいなかつたんだよ。

斎宮の栄えた頃(奈良時代・平安時代)は、中国など外国の文化の影響を受けながら、日本独特の文化がつくられていく時代でした。



このような珍しい品を使いながら、遠い外国に思いをはせていたのかもれませんね。

ほかにも平城京・大宰府などからも出土していない特別な硯「蹄脚硯」も出土しています。

羊が一匹、羊が二匹……って、本当はどんな生き物なのか考えたら眠れない!

斎王の中には、わずか5歳で斎王に選ばれた姫もいます。小さな女の子が親や都から離れるのは、寂しくて、つらかったことでしょう。中には斎王に付き添つて、母親が伊勢まで一緒に行つた親子もいます。



斎宮で亡くなつた斎王
ふるさとの都から離れ、
病気のために斎宮で亡くなつた隆子女王は、
手厚く葬られました。

病で亡くなつた隆子女王は、
都に帰ることはなく、この地
に手厚く葬られました。



斎王の中で10年以上務めた人は
15人くらいです。隆子女王は斎
宮で亡くなつた初めての斎王で
した。



ます。

斎王が乗つた輿「葱華輦」

斎宮コラム①

都から斎宮に向かうとき、斎
王が乗る輿は、屋根に金色の葱
の華の形をした飾りが付いてい
たので、葱華輦と呼ばれました。
当時は、天皇と皇后、斎王など
特別な人しか乗ることができな
い乗り物だったのですよ。斎宮
歴史博物館には、当時の葱華輦
を再現したものが展示されてい
ます。



お墓は地元では姫塚、小松塚と
よ呼ばれていたんだ。

隆子女王の別名の「小松院」に
関係しているのかな。

明くん

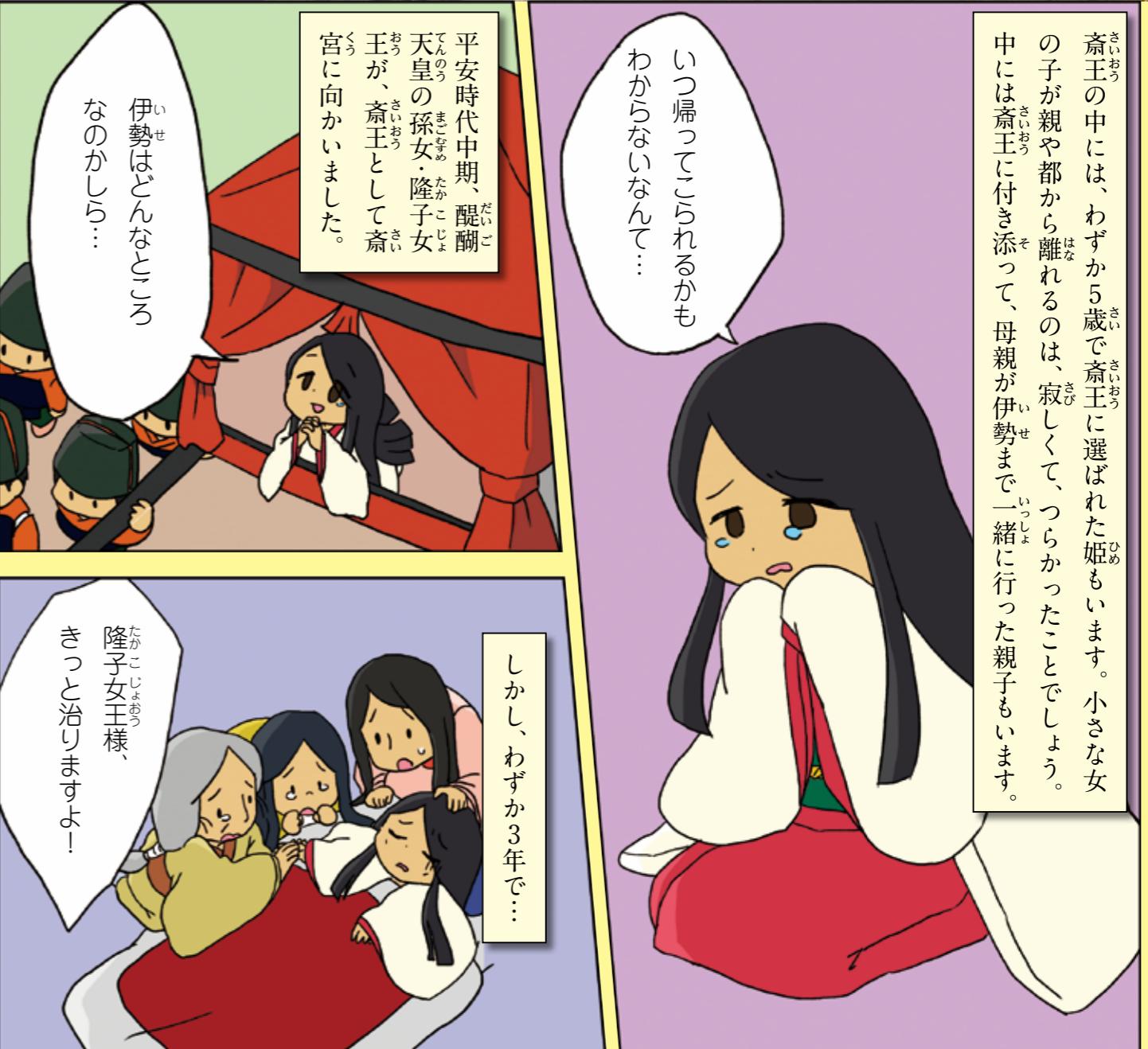
私たちと歳が変わらない斎
王もたくさんいたのね。

て
います。

斎王の解任

天皇が亡くなつたり、その座を譲られたりしたときや、肉親が
亡くなるなどの不幸があると、斎王はその役目を終わります。こ
れを「退下」といい、別の建物に移つた後に都へと帰ります。斎王
の中には伊勢に来る前に肉親が亡くなり、役目を交代した人や、
一年ほどで都に帰つた人もいたそうです。斎王に選ばれた人の多
くは5才から15才の少女が中心でした。

隆子女王の年齢はわかっていないませんが少女と考えられ、疱瘡
(天然痘という伝染病)で亡くなりました。現在、隆子女王の墓は
富内庁で管理されており、地元の方によつて常にきれいに保たれ
ています。



いつ帰つてこられるかも
わからないなんて…

平安時代中期、醍醐天皇の孫女・隆子女王が、斎王として斎宮に向かいました。

伊勢はどんなところ
なのかな?

しかし、わずか3年で…

隆子女王様、
きっと治りますよ!

安定して続いていた斎王制度でしたが、いくさが多くなり国が乱れると…

時は流れ、斎王の都は地上から姿を消し「幻の宮」となりましたが、斎宮のことは地元の人々によつて語り継がれてきました。



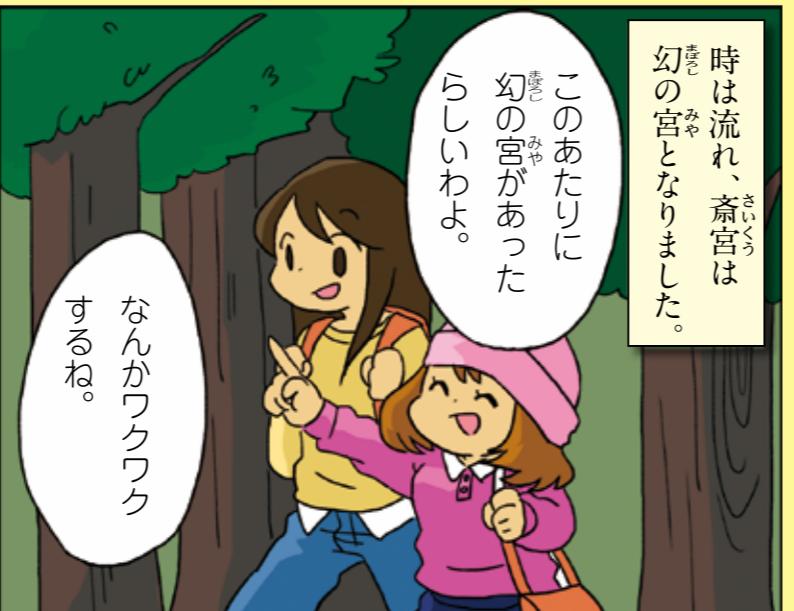
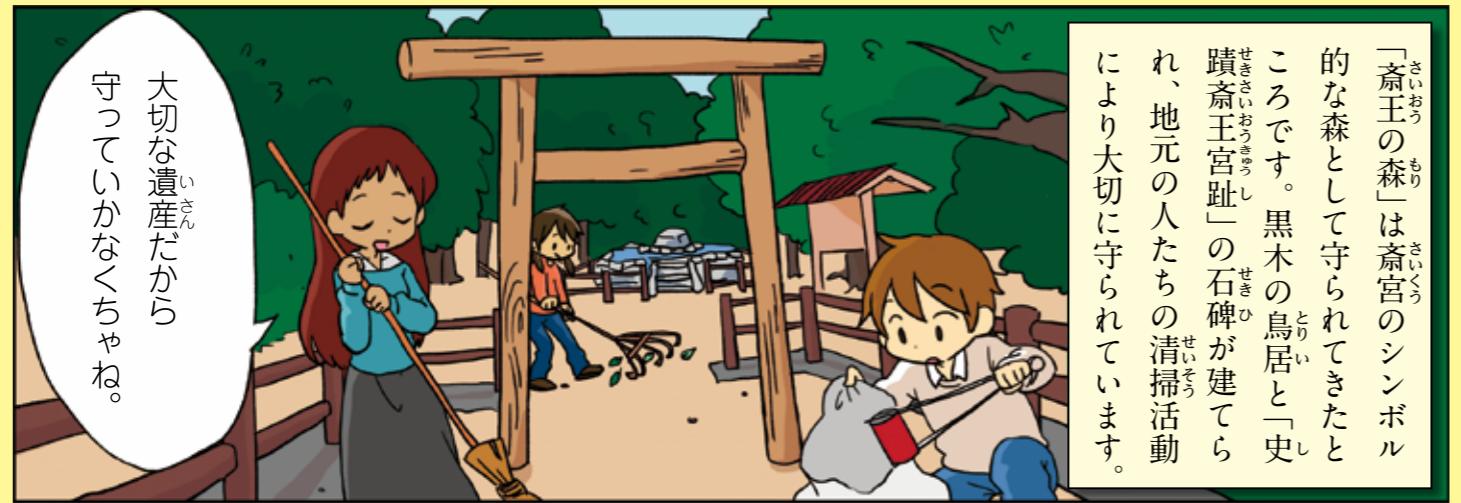
幻の宮になつた斎宮

斎王制度が廃止された後も、斎宮は長年「幻の宮」と呼ばれ、伝承されました。



幻の宮「斎宮」

「斎王の森」は斎宮のシンボル的な森として守られてきたところです。黒木の鳥居と「史蹟斎王宮趾」の石碑が建てられ、地元の人たちの清掃活動により大切に守られています。



660年間も続いた斎王制度は、60人あまりの斎王の登場をもつて終わりを迎えました。そして、斎宮は長年「幻の宮」と呼ばれ、地元では伝承が残つていたものの、場所すらわからなくなっていました。



大切な遺産だから守つていかなくちゃね。

幻の宮・斎宮がよみがえったのは昭和の時代に入つてから。発掘調査で斎宮の存在が確認されたのでした。

なんかワクワクするね。

「斎王の森」は、斎宮が存在したことを示す、象徴なのじや。

明和町の人たちが大切に「斎王の森」を守っているのね。

和ちゃん

この竹神社からス「イ」発見があつたんだって!!

ここには、斎王が住んでいた宮殿(内院)の一部があつたりしいんだ!



斎王の宮があつた場所

竹神社(野々宮)は神様がおまつりされた神社であり、斎王の宮があつた神聖な場所です。



そのほかにも、ひらがなが書かれた土器が多く見つかりました。斎王とその世話をする女性が暮らした「内院」には多くの女性がおり、その人たちが字の練習をしたものでした。僕たちもしっかり勉強しなくちゃ!

日本最古の「いろは歌墨書き土器」の発見

斎宮コラム②



平安時代後期のもので、ひらがなで書かれた「いろは歌」としては日本最古となります。紙が貴重だった当時、斎王に仕える女官が、文字を覚るために書いたものとされており、当時の文化を知るうえでもとても貴重な発見となりました。



昔の人も僕たちと同じように字の練習をしていたんだね。

斎王の暮らしを想像しながら竹神社にお参りするのもいいわね。

和ちゃん

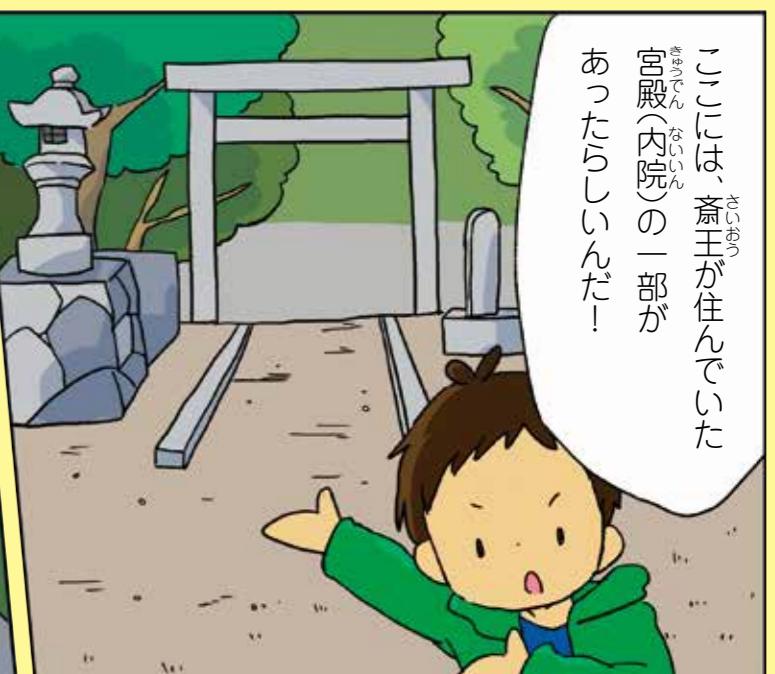
内院での暮らし

● ● ●

竹神社は江戸時代には「野々宮」とも呼ばれ、斎王が体を清めた野々宮(今の京都府京都市の野々宮神社など)にあやかったものとされています。江戸時代すでに「幻の宮」となっていた斎宮を観光するため、伊勢参りの名所にもなっていました。昭和時代に行われた発掘調査で、神社の周りを調査したところ、平安時代の大きな板塀が今の神社を囲むように造られていたことがわかりました。さらに、墨でひらがなが書かれた土器も多く見つかりました。平安時代のころ、ひらがなは主に女性が書くものであったため、ここに女性が多くいたことがわかりました。そういったことから竹神社の場所には斎王の住まいである「内院」があったことがわかりました。



証拠となつたのは竹神社を囲むよう見つかった大きな塀の跡でした。塀は斎王の宮殿(内院)の中が見えないように造られていました。

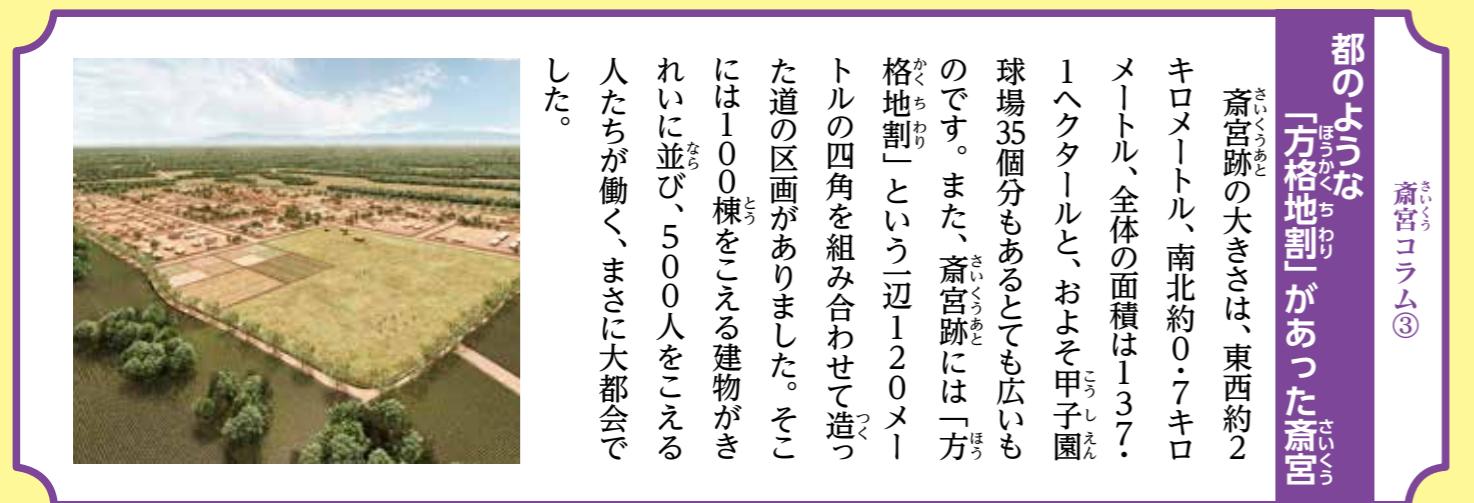


斎宮跡



斎王制度を支えたのは「斎宮寮」と呼ばれる役所で、斎宮寮の長官が重要な儀式を行ったり、都からの遣いの者をもてなした「寮庁」には3つの中心的な建物があり、発掘された場所に実物大で復元されています。

次ページも参考にしてね。



都のよくな「方格地割」があつた斎宮

斎宮コラム③

斎宮跡の大きさは、東西約2キロメートル、南北約0.7キロメートル、全体の面積は137.1ヘクタールと、およそ甲子園球場35個分もあるとても広いものです。また、斎宮跡には「方格地割」という辺120メートルの四角を組み合わせて造った道の区画がありました。そこには100棟をこえる建物がきれいに並び、500人をこえる人たちが働く、まさに大都会でした。



私たちのご先祖様も、斎王を支えていた人たちだったかもしれないわね。

よみがえる斎宮

● ● ●

1970年(昭和45年)に始まった発掘調査によって、「幻の宮」とされてきた斎宮がどんなものであったのかがわかつてきました。発掘調査では、昔に建っていた建物の柱あとなどを、土の違いによつて見分けます。それによつて、どのぐらいの大きさの建物があつたのかがわかります。

斎王が住む宮殿には、斎宮寮という役所もあり、斎王の暮らしやおまつりに必要なものをととのえていました。その中心である斎宮寮を復元した「さいくう平安の杜」にある建物(正殿、西脇殿、東脇殿も、発掘調査で見つかった柱あとの上に造られています)。

斎宮跡の発掘調査
斎王制度の調査が始まつたのは、斎王制度がなくなつてから約700年後、昭和時代のことでした。

発掘調査ができたのは、まだ全体の15%程度なんだつて! それほど斎宮跡は広大な遺跡なんだよ。

1970年(昭和45年)に始まった発掘調査が行われ、長い間埋もれていた斎宮が再びその姿を現し始めました。



1970年(昭和45年)に、現在「斎宮歴史博物館」が建つているところで初めての発掘調査が行われ、長い間埋もれていた斎宮が再びその姿を現し始めました。

そして、1979年に国の史跡に指定されました。



もっと知りたい、学びたい！

そんな気持ちに応える

おすすめの施設です。

まぼろしさいくうあとせいび
幻の斎宮跡が整備された「さいくう平安の杜」をはじめ、明和町には斎王・斎宮について学べるいろんな施設があります。行つたことがない人は、日本遺産上に斎王のことが、身近に感じられるはずです。



斎宮歴史博物館

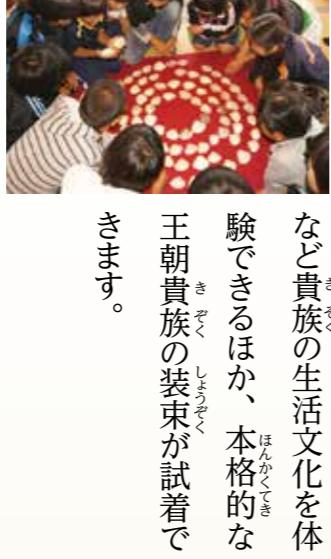


斎宮歴史博物館

三重県多気郡明和町大字竹川1503 ☎0596-52-3800(代)
時間 9:30~17:00(但し、入館は16:30まで)
料金 一般／340円、大学生／220円、小中高／無料
定休日 月曜日(祝日・国民の休日の場合を除く)
祝日・国民の休日の翌日(土・日曜日の場合は除く)・12月29日~1月3日



斎宮跡に建つ三重県立の博物館です。斎宮跡の発掘成果をはじめ、斎王が乗った輿や、斎王が神宮で行う祭祀の様子を再現したマジックビジョンなど、資料や模型、映像などで斎王の役割や当時の斎宮の様子を紹介しています。ここでしか見られない斎宮に関する貴重な展示を見ることができます。



平安貴族の住まいをモデルにした寝殿造り

の建物は、三重県産の杉・桧を使用し、釘を使わない伝統工法により建てられた古代建築です。

斎宮が最も栄えた平安時代の歴史や文化を身近に体験・学習できます。貝合せや盤双六など当時の遊びや、葱華輦に乗るなど貴族の生活文化を体験できるほか、本格的な王朝貴族の装束が試着できます。

三重県多気郡明和町大字斎宮3046-25 ☎0596-52-3890
時間 9:30~17:00(但し、入館は16:30まで)
料金 無料(体験プログラムは一部有料)
定休日 月曜日(祝日・国民の休日の場合を除く)・祝日・国民の休日の翌日(土・日曜日の場合は除く)・12月29日~1月3日

平安貴族の住まいをモデルにした寝殿造りの建物は、三重県産の杉・桧を使用し、釘を使わない伝統工法により建てられた古代建築です。斎宮が最も栄えた平安時代の歴史や文化を身近に体験・学習できます。貝合せや盤双六など当時の遊びや、葱華輦に乗るなど貴族の生活文化を体験できるほか、本格的な王朝貴族の装束が試着できます。

三重県多気郡明和町大字明星1646 ☎0596-52-7138(明和町斎宮跡・文化観光課)

斎宮や伊勢神宮で使う土器が作られたとされる奈良時代の遺跡。土器を焼く小さな窯や井戸、建物跡など当時の土器の作り方がわかる全国でも珍しい遺跡です。1977年に国の史跡に指定され、現在は公園になっています。

史跡水池土器製作遺跡

三重県多気郡明和町大字明星1646 ☎0596-52-7138(明和町斎宮跡・文化観光課)

平安時代の斎宮が体感できる史跡公園と勢物語にも登場する宴会の場所と考えられる西脇殿の建物、15mの幅がある「方格地割」の道路などが復元されています。これらは発掘調査で見つかった柱や溝の跡の上に復元されています。ヒノキの皮をのせてある「檜皮葺き」の屋根もぜひ見てください。



斎宮VR(バーチャルリアリティ)でよみがえる
平安時代の斎宮

さいくう平安の杜では、貸出用タブレットを使って斎宮 VR を体験することができます。復元された建物と見比べながら、斎宮でどんなことが行われていたか見てみましょう。



復元された3つの建物

左が宴会などに活用されたとされる「西脇殿」。真ん中手前が儀式の前に役人が待機したり、儀式の準備に使われたとする「東脇殿」、右手奥が斎王の宮殿に次ぐ斎宮のシンボル「正殿」です。

史跡公園「さいくう平安の杜」

三重県多気郡明和町大字斎宮2800
時間 9:30~17:00
料金 無料
定休日 月曜日(祝日・国民の休日である場合を除く)・祝日・国民の休日の翌日(土曜日を除く)・12月29日~1月3日
※開園時間・休園日については季節や都合により変更する場合があります。

斎王のみやこMAP

日本遺産の文化財と関連施設の場所を
地図で確認しながら歩いてみよう!

斎宮歴史博物館

8 斎宮跡出土品

P18,19

史跡指定範囲

4 砥川

P10,11

7 竹川の花園※

P16,17

10 斎王の森

P22,23

11 竹神社

P24,25

12 斎宮跡

P26,27

13 古代伊勢道

14 上園芝生広場

15 斎宮跡休憩所(いつきのみや
歴史体験館)

16 10分の1
史跡全体模型

17 四脚門跡
※非公開

18 JA多気郡
斎宮支店

19 八脚門跡

20 伊勢街道の街並み

21 天満宮の道標
（うめいじのみやのとうひょう）

22 宗安寺

23 佐々夫江行宮跡

P6,7

24 カケチカラ
発祥の地

P8,9

25 大淀

P4,5

26 業平松

P14,15

27 斎王尾野湊
御禊場跡

P12,13

28 佐々夫江行宮跡

※2017年3月現在、佐々夫江行宮跡は未整備の状態のため、
お近くご覧になる際は足元に十分お気をつけください。



Q&A

答えはウラを見てね。ほかにも日本遺産について
知りたいことやわからないことがあるれば、
明和町斎宮跡・文化観光課(役場の2階にあるよ)に聞いてみよう。

Q1：明和町の「大淀」という名前は誰が名付けたものでしょうか。(ヒント P5)

Q2：「斎王」の始まりとなった豊勧入姫命と倭姫命はなんと呼ばれていたでしょうか。(ヒント P7)

Q3：八百の穂をくわえていた鳥で、伝説にもなっている鳥の名前はなんでしょう。(ヒント P9)

Q4：斎王が都から5泊6日かけて斎宮に向かった旅をなんというでしょう。(ヒント P10)

Q5：斎王が伊勢神宮に行くのは、なんというお祭りのときでしょう。(ヒント P12,13)

Q6：『伊勢物語』に書かれた斎王のモデルは誰でしょう。(ヒント P15)

Q7：平安時代に紫式部によって書かれた物語はなんでしょう。(ヒント P16)

Q8：天皇や斎王しか乗れなかった特別な乗り物はなんでしょう。(ヒント P21)

Q9：平安時代にひらがなを使っていたのは、女か男どちらでしょうか。(ヒント P25)

Q10：斎王制度を支えたのは、なんという組織だったでしょうか。(ヒント P27)

